

発行／村山市議会 編集／議会だより編集委員会

ぎかいだよりむらやま



写真／
若手でがんばるVOL.5
「大槇共栄」奥山 拓さん

<http://www.city.murayama.lg.jp> 携帯からはコチラ→



2015
vol.86

2015年7月15日
発行

会期は18日間

第3回定例会開催

平成27年第3回定例会は5月29日から6月15日までの18日間の会期で開催されました。

今議会では村山市市税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例と一般会計補正予算及び公共下水道事業特別会計

補正予算、工事請負契約の締結の4議案を審議し、いずれも原案通り可決しました。

このほか、請願4件を審査し、このうち、請願3件を継続審議、1件を不採決としました。

一般会計補正予算可決

1億3,687万円追加

総額 118億8,687万円

補正予算

○一般会計

歳入歳出の総額にそれぞれ、1億3千687万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ118億8千687万円とするものである。主な補正内容は、左記のとおりである。

一般会計補正予算の主な内容 (単位千円)

1、ふるさとづくり積立金	50,000
2、ふるさと納税受け入事業	25,500
3、中学校施設防災機能強化事業	17,600
4、あいあるまちづくりプロジェクト委託料	6,537
5、徳内ばやし振興事業補助金	3,000

○公共下水道事業特別会計

歳入歳出予算の総額に、それぞれ1千300万円を追加し歳入歳出予算の総額をそれぞれ11億674万8千円とするもので、その内容は、管渠建設の実施設計関係予算である。

条例

○村山市市税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例

地方税法の一部改正に伴い、最初の新規検査から13年を経過した軽自動車税の見直しに関する村山市市税条例の一部を改正する条例(平成26年条例第16号)の一部を改正するものである。

追加提案

○工事請負契約の締結

請負契約の締結について追加提案され、原案通り可決された。
工事名

平成27年度無線システム普及支援事業費等補助金事業消防救急デジタル無線整備工事

契約金額
1億6千17万2千100円

契約の相手方

宮城県仙台市宮城野区扇町三丁目5番5号

株式会社富士通ゼネラル東北情報通信ネットワーク営業部

請願

○T P P交渉に関する請願(継続審査)

○米価暴落対策の意見書を求める請願(継続審査)

○日本を「海外で戦争する国」へとつくり変える戦争法案の廃案を求める請願(不採択)

○「平和安全法制」法案の徹底審議を求める意見書の請願(継続審査)
(総務常任委員会では採択。本会議で動議提出があり、継続審査となる。)



出資法人の経営状況

市が出資している土地開発公社・余暇開発公社・体育協会の経営状況が報告された。

土地開発公社

平成26年度は、継続事業の北町グリーンタウン残区画の完売に向けて、村山市の分譲地「二日町タウン」とタイアップしてハウスメーカーへの販売協力を依頼したほか、



新聞折り込みチラシによる分譲販売活動を行ってきたが、問い合わせは数件あったものの分譲には至らなかった。一方、村山市からの依頼により市街地の空き地を利用した小規模な住宅団地「二日町ミニタウン」の造成に着手した。

平成26年度一般財団法人村山市余暇開発公社の当期純利益金

単位：円

当期純利益会計区分	平成26年度	平成25年度	比較
法人・余暇開発事業	△743,840	28,861	△772,701
クアハウス基点・健康づくり事業	△9,092,239	△8,218,775	△873,464
道の駅むらやま	16,551,359	19,204,009	△2,652,650
合計	6,715,280	11,014,095	△4,298,815

○道の駅むらやま
平成18年度から、レストハウス東沢を加え、村山市の指定管理者として



- 3 家族交流グラウンドゴルフ大会
- 4 市民体育館健康教室
- 5 障がい者スポーツ

○主な記念事業
1 スポーツ振興事業として最上川スマイルマラソン大会
2 エアロビクス教室
3 家族交流グラウンドゴルフ大会
4 市民体育館健康教室
5 障がい者スポーツ



た。なお、平成26年度末における法人全体の正味財産期末残高は、2千681万1千830円で、前年度より5万6千536円の減となった。

一般財団法人村山市余暇開発公社

平成26年4月1日より公益財団法人から一般財団法人に移行し、引き続き、クアハウス基点、道の駅むらやま、レストハウス東沢を中心として事業を展開した。

一般財団法人移行後、初めてとなる平成26年度決算の当期純利益は次表のとおりとなる。

業務を行っている。平成26年度は、消費税の増を予測し、利益率重視客単価アップを経営方針としてスタートした。収益の柱である物販部

一般財団法人村山市体育協会

○クアハウス基点
新温泉棟オープン2年目を迎え、利用者の増加により好調が続いている。新たな事業にも取り組み、健康づくり事業を含む平成26年度の利用者数は31万8千人を超え、前年度より3千人余の増加をみる事ができた。

平成26年度においては、生涯スポーツ推進事業、スポーツ少年団活動育成事業、加盟団体育成事業などのほか、村山市の指定管理者として、体育施設の管理運営に当たっている。

7 親子で体験楽しいスポーツ
なお、平成26年度末における法人全体の正味財産期末残高は、2千681万1千830円で、前年度より5万6千536円の減となった。

埼玉県 戸田市議会広報委員会、 当市を視察

初めての受け入れに緊張感高まる



村山市を訪れた戸田市議会広報委員の皆さん

5月22日、埼玉県戸田市議会広報委員会の視察が庁舎内で行われました。当日は、戸田市議会の正副議長をはじめ、広報委員10名、随員の事務局2名と総勢14名で、議会だよりの編集方法についての意見交換を行いました。

戸田市の人口は約13万3千人、世帯数約6万世帯と本市と比較出来ない規模の都市であります。大山編集委員長の説明のあと、質疑応答となり、質問事項には、それぞれ担当の委員が答える形式となりました。今までは視察する側でしたが初めて迎え入れる側に立ち、改めて当議会だより編集委員会の課題を考える機会となりました。

	戸田市	村山市
名称	とだ議会だより	ぎかいだよりむらやま
発行回数	定例会毎に4回	定例会毎に4回
発行部数	45,500部	8,900部
編集体制	発行責任者 議長 委員 10名	発行責任者 議長 委員 7名
編集の工程	発行毎に広報委員会を3回開催	発行毎に編集委員会を5回開催
配布までの日数	35日～40日	25日～30日
配布方法 配布先	<ul style="list-style-type: none"> 全世帯配布（自治会経由） 市内JR駅、大型店舗、金融機関 	<ul style="list-style-type: none"> 全世帯配布（行政委員経由） 市民センター、図書館など
予算、仕様	印刷製本費 346万4,000円 全ページ4色刷り 20p～24p	印刷製本費 92万6,000円 表紙・裏表紙 カラー、 他2色刷り12p
留意点	<ul style="list-style-type: none"> わかりやすく、親しまれる広報紙 やさしい言葉づかい 写真、図などの活用 できるだけ文字を大きく 	<ul style="list-style-type: none"> 誰にでもわかりやすい文章 手にとって読んでもらえ親しくもらえる 効果的な写真の使い方 速やかな編集、発行



戸田市の秋元良夫広報委員長



歓迎のあいさつをする海老名議長



目指そう日本一 活かせ 東沢バラ公園

井澤 秋雄 議員



目指せ日本一

Q 東沢公園は、村山市の大きな観光資源である。規模の大きさより質が問われる時代であり有効な投資を行い、好感のもてる接客により「又、来てみたい」と思われるバラ公園、日本最良級と評価される総合公園を目

指すべきでないか。
また、食べ物も大きな観光要素である。昼に村山市の宣伝しているソバでも食べられる施設も検討すべきである。
A 従来のような大規模な都市公園事業は当面考えられないが、費用

対効果を考えながら、計画的に整備していきたい。

Q 女子から農業改革と立ち上がった地域おこし協力隊「山形ガールズ農場」は、米の植物ミスト栽培も手がけ、国の優良事例に選定されるなど活躍が評価されているが応募者が少なくなっている。
国も地方創生の一環として強力に推進している市も一層支援を進めてはどうか。

A 現在は、農業以外の地域おこし協力隊も出てきており、これも含めて支援していきたい。

Q 子育ての支援は、企業側のサポートも必要であり事業所保育も支援していくべきでないか
A 子育てし易い環境づくりのため、企業の協力が得られれば支援していきたい。



農業の六次産業化に向けて

布川 淳一 議員

Q 市の六次産業化が遅れている。今年度より係を創設し本格的な取り組みをするが、村山市における六次産業の具体的な展望を聞く。

「私たちは本気で作って、本気で売っている」と昨年視察した町の担当者から聞いた。
企業として成り立ち、利益を計算し、雇用を確保しなければ産業とは言えない。そのために必要なのは、安定した農産物の収量の確保と販売先の確立。プランニングが重要だ。今後の方針は。

A 今年度は六次産業推進協議会を9月までに立ち上げる。
Q 国や県の補助制度にかさ上げする補助制度の創設を望む。
A 合致するものがあれば対応している。
Q 分業制六次産業と推進協議会を事業体に推

進協議会を事業体に推

することを提案する。

生産者と加工者、販売者がそれぞれ得意分野で連携し、共同で商品開発を行い村山ブランドとして販売まで取り組んでいってはどうか。

A 市が絡んでうまくいったためがない。異端児が成功している。民間主導が良い。人材の醸成から始めたい。

Q 今年度から保育士の一部が嘱託職員になった。人材の確保に嘱託は必要な制度だが、採用の基準が無い。この際、きちんとした制度が必要ではないか。

A 職場により基準が違ってくるので村山市として包括的な採用基準が無い。



地元産の玄蕎麦を使用した手打ち蕎麦が売り物



高齢者・障がい者施策をとおしての 住みよい地域づくりは

齋藤 ひろみ 議員

Q 介護保険法改正による要支援・虚弱高齢者の市町村地域支援事業移行への方策は。

A ①平成29年4月より要支援者の訪問介護、通所介護は市町村給付になるが今までどおり介護サービスは受けられる。
②虚弱高齢者については

健康教室やいきいきサロンなどの活用や配食サービスなどでの拡充を図る。
③ボランティアなどの養成については現在認知症サポーターがおり今後は

介護予防サポーターとしての活用も課題として検討する。
④地域包括ケアシステムとして困難事例

に専門的に対処支援できるケア会議活用を図る。

Q 障がい者の方たちと共生社会をめざして市民、行政一体となりうる意識の醸成の方策は。

A ①学校では特別支援学級と普通学級との多くの交流や人権についての教育を継続していく。

②来年度施行の差別解消法の広報、啓発、合理的配慮について市報やホームページを多く活用する。
③障がい者及び家族支援のため相談支援事業所や北村山地域自立支援協議会の活用を図る。

Q 住み慣れた地域で暮らして良かったと思えるような地域力を醸成するための若者、老熟年交流の方策は。

A ①各種情報発信を多く持つ。②生活困窮者自立支援法などでの地域生活支援を図る。



市は環境保全協定の当事者としての 責任を果たせ

中里 芳之 議員

Q ①現在も基準値を超えた水が放流されている。どう思うか。②重金属類については10月22日以降やっていない。放流再開後も数値に異常があれば、重金属については

も検査すべきだ。③市はアシストの行為を「協定違反」とやると認めたが、業者のどの行為が協定のどの部分が違反したのか。④二期工事分の遮水シート張替等は全ておこなったのか。⑤シートの不具合をめぐり、アシストと施工業者の間で係争があったとの情報がある。

聞き取り調査などはやったか。⑥水処理がうまくいかないのに、県外産廃は2割以内という規制値を超えている。現状をどう考えるか。

A ①数値には波がある。業者も努力している。②必要なものではな



無届け放流口からの放流（昨年10月アシスト産廃処分場）

細目協定を超えたことなど。④底部の一部と法面のすべてはおこなった。⑤していない。調べる目的は何か。⑥（答弁なし）

Q ①協定では、細目協定の基準値を順守できなくなる「恐れ」が生じたときは、業者は直ち

に市に報告し改善措置を講じなければならないが、これに違反しないのか。②裏放流の理由について確認したのはいつか。

A ①検討はするがさつき述べたとおり。②裏放流の水質が適正だったかどうか。



地域の新たな支えあい全国サミットinむらやま



入学準備金の早期支給を

川田 律子 議員

Q ①義務教育を受けている児童・生徒が一世帯に3人以上いる場合、第3子以降、給食費が無料になるが、さらなる子育て支援として第2子まで拡充する考えは。②就学援助費の中に入学準備金があるが、支給日が遅く実態に合わないのでは。早期支給を。また準備金の中に中学校の体操着や指定グッズの支給など独自の上乘せの考えは。③入学準備金の貸付制度を就学援助費との相殺の方法でできないか。

A ①施策として有効であると思うが、今のところ白紙である。②3月末に転勤などの移動があるので4月1日づけで早急にやろうと考えている。上乘せについては入学準備金の中にクラブ活動助成が約3万円入っている。③社会福祉協議会の入学準備金の貸付制度



給食のようす

の利用をすすめる。

Q 本市のように高齢化や過疎化がすすむとマイカーに代替した利用しやすい交通手段が必要となってくる。免許証を返納した場合の助成やその後の足の確保をどのように把握しているか。また高齢者で元気な人の外

出手段としてバスや乗合タクシーなどがあるが、その他に隣りの市のようなタクシーを利用した助成などの考えは。

A 返納した場合3万円のタクシー券の助成がある。高齢者の足の問題については現在精査中である。

審議結果報告

6月定例会において賛否の分れた議案についてのみ掲載しました

議員名	議決結果	市政クラブ							青風会	日本共産党 村山市議団	改革クラブ		無党派		賛成	反対				
		齋藤ひろみ	井澤秋雄	長南誠	鈴木健治	森一弘	秋葉新一	柴田好美	茨木久彌	佐藤敏彦	布川淳一	川田律子	中里芳之	原田昌浩			菊池貞好	佐藤昌昭	大山正弘	海老名幸司
請願4号	日本を「海外で戦争する国」とつくり変える戦争法案の廃案を求める請願	否	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	議	6	10

正副議長及び監査委員は会派に属しません。議長は可否同数の場合以外は採決に加わりません。

可=可決 否=否決 ○=賛成 ×=反対 欠=欠席 退=退席



新しい議会の構成を お知らせします

4月の市議会議員補欠選挙で、3名の新市議会議員が確定しましたので、それに伴い議会も新しい構成でスタートしました。議会の新しい枠組みをお知らせいたします。

総務常任委員会

委員長 井澤 秋雄
副委員長 布川 淳一
委員 鈴木 健治 佐藤 昌昭
長南 誠 原田 昌浩

文教厚生常任委員会

委員長 佐藤 敏彦
副委員長 柴田 好美
委員 大山 正弘 森 一弘
中里 芳之

産業建設常任委員会

委員長 秋葉 新一
副委員長 川田 律子
委員 海老名幸司 茨木 久彌
菊池 貞好 齋藤ひろみ

議会運営委員会

委員長 長南 誠
副委員長 中里 芳之
委員 柴田 好美 秋葉 新一
森 一弘 佐藤 敏彦

議会だより編集委員会

委員長 大山 正弘
副委員長 川田 律子
委員 秋葉 新一 長南 誠
布川 淳一 佐藤 敏彦
井澤 秋雄

会派の構成

《市政クラブ》

◎森 一弘 茨木 久彌
柴田 好美 秋葉 新一 鈴木 健治
長南 誠 井澤 秋雄 齋藤ひろみ
(海老名幸司) (大山 正弘)

《青風会》

◎佐藤 敏彦 布川 淳一 (佐藤 昌昭)

《日本共産党村山市議団》

◎中里 芳之 川田 律子

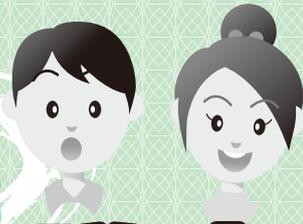
《改革クラブ》

◎菊池 貞好 原田 昌浩

() は正副議長と監査です。自動的に会派の所属を離れます。

◎は、会派代表者です。

とどけ!
市民の声



4月27日～28日

議会報告会開催

第7回議会報告会が大倉、戸沢、大高根、袖崎の4地域で開催されました。内容は27年度一般会計予算、特別会計予算の概要を説明し、各常任委員会での審議内容、26年度補正予算を報告しました。

各地域とも参加者が少ないわりに活発な意見や質問が多く出されました。今後は時期や、やり方などを検討していきたいと思えます。議会報告会は市民の声を届ける貴重な場所です。多くの市民の方々の参加を希望します。

市民の意見・要望と対応

大倉地域

・議場に国旗が掲揚されていないが、市によって違うのか。
(議会に対し報告しました)

・固定資産税の賦課について、奥行き、間口補正など個々に補正するとされているが、大倉地域は市街地でないため補正されていない。適正な課税という点から補正すべきではないか。窓口の説明も納得できる説明がされていない。補正していただくよう要望する。
・空き家対策について、街づくり協議会で報告しているが、その後どうなっているのか。
・徳内まつりへの参加が少なくなっているが、人口対策の面からも盛り上げていくべきではないか。
・防災無線について、午後5時に放送されるが、12時にすべきだ。

・流雪溝はあまり効果があるとは思わない。県で整備しているが水は大丈夫か検討してからやるべきだ。空き地を借り雪押し場を増やすべきである。

・ふるさと納税は各市で力をいれているが、村山市でも税収を増やすために力を入れるべきだ。

・高速道路は早く開通なよう頑張る欲しい。



大高根地域

・防犯街路灯のLED化で今年度2千400か所に

設置される。今まで先行してLED化した分は保障されるのか。

・定住促進対策は雪の対策がネックになっていく。解決策はないのか。

・高齢者の免許返納で、60歳後半で返納してもタクシー券はもらえないのか。

・市道側溝の新設はどうすれば良いのか。

・子育て支援住宅リフォームなどの申請はどのようにするのか。

・まちづくり、人口対策について具体的なものは何ですか。

・村山警察署付近の十字路で油のような臭いがある。確認してほしい。

戸沢地域

・保育園の指定管理は戸沢保育園だけか。

・住宅リフォームの三世代同居は30%の補助になるのか。

・今までLED化に変更した分の負担金に助成はならないのか。

・クアハウス基点の駐車場が少ない。

・ふるさと納税の額と返礼品の内容は何か。

・下水道に繋いでいない家が多い。どうなっているのか。

袖崎地域

・ふるさと納税の村山市の状況はどうか。

・人口減少対策のため、もっと企業誘致して欲しい。

・コンポストリサイクルセンターの臭気がひどくて夜も眠れない。

・湯舟沢から五十沢への道路について、5億円の内訳を教えて欲しい。

・スイカの選果場だが東部(尾花沢)には国の予算がついているが、西部(大石田)にも国の予算化を望む。

(以上については執行部に対し報告しました)

・議会報告会の告知を市のホームページに掲載していない。ホームページの充実を望む。

(議会に対し報告しました)

市民の声



小学生と田植えを楽しむ青柳和彦さん

山形県青年農業士 青柳和彦さん

私は、大高根地域で米、花（トルコギキョウ、ストック）を栽培している農家です。今年で30歳を迎えて、青年農業士に認定していただき、これからの農業を活気づけていけたらと思っています。さらに今年から小学校の方から田植えをしたいと要望があり、農協青年部でお手伝いをさせていただきました。そのことをみなさんにお伝えしようと思います。

6月1日に富並小学校の5・6年生と田植えをし

した。青年部から植え方の説明を受けた後、くつ下一枚になり、田んぼに入っていった児童は、転びそうになったり、尻餅ついたり悪戦苦闘しながらも「楽しい」「きもちいい」と歓声を上げながら一生懸命に、田植えを行いました。この日は天候にも恵まれ、より一層土や水の感触を楽しめたと思います。体感することでなお自然や農業に対して興味を持っていただければ幸いです。

小学生が植えた苗が秋に立派な稲穂となって実りますように。



田植えの指導を受ける子どもたち

〈表紙写真〉

大槇共栄の農業奥山拓さん33歳。「村山市をさらに活性化させたい」とバラ栽培、主に食バラを経営販売しています。一步一步目標に向けて夫婦共々歩んで行きながら頑張っています。



第6回

議会だよりクイズ

Q1：東沢バラ公園が全国観光地域の中からロマンティックなスポットとして認定されました。つぎの内どれでしょうか？

- ①恋人の畑地 ②恋人の聖地 ③恋人のさら地

Q2：東沢バラ公園27年6月25日現在で有料入園者数はおよそ何人でしょうか？

- ①40,000人 ②30,000人 ③20,000人

応募方法

- クイズの答え、住所・氏名・年齢をお書きのうえ、郵便またはFAXでご応募ください。
- 正解者の中から抽選で3名の方に粗品を差し上げます。
- 締め切り 平成27年8月14日（金）（当日消印有効）
〈あて先〉〒995-8666 村山市中央1-3-6 村山市議会事務局
FAX (0237) 55-5005

議会の傍聴へお気軽においでください。

◎本議会だけでなく全ての会議が原則公開です。お気軽においでください。会議の予定はホームページなどでお知らせします。

◎インターネット中継も配信中

詳しくは、<http://gikaitv.net/dvl-murayama/index.html>

村山市議会→議会中継（ライブ中継・録画中継、外部リンク）より

委員長
副委員長

大川 秋葉 長南 佐藤 井澤
正弘 律子 新誠 淳彦 秋雄

議会だより編集委員会